

# 大麦特報 第3号

令和5年4月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

本年は積雪日数が少なく、気温が高く推移しているため、昨年より生育は早くなっております。止葉展開期は3月29日～31日頃、出穂期は**4月9日～11日頃**となる見込みです（10月上中旬播種）。ほ場ごとに生育状況を確認し、**赤かび病防除**を必ず行ってください。

## 1 排水対策

- 排水不良のほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなります。管内では、溝に水が溜まったままのほ場が見られるため、早急に排水溝の手直しを行い、排水を促しましょう。

## 2 赤かび病の防除

- 赤かび粒の混入限度は0.0%と厳しく定められています。
- 赤かび病防除は、ほ場ごとの出穂状況を確認し、最も効果的である穂揃期（開花始め）とその7日後の2回防除を必ず行ってください。

### 【防除体系及び農薬名】

	1回目	2回目
防除時期	穂揃期（開花始め） 4月12日～14日頃	1回目から7日後
液剤	トップジンM水和剤 1000倍液 150ℓ/10a	ワークアップフロアブル 2000倍液 150ℓ/10a

※防除適期に降雨が多い場合でも、晴れ間を利用して確実に防除をしましょう。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、防除は風の弱い時間帯に行いましょう。

## 3 カラスノエンドウ等の除去

- 実需者から、異物混入防止の徹底を求められており、特に、カラスノエンドウ等の種子の混入防止が重要です。
- ほ場内に侵入してからの除去は労力を要するため、ほ場周辺でカラスノエンドウやハマダイコンを見かけたら速やかに除去しましょう。



カラスノエンドウ

ハマダイコン

### 春の農作業安全確認運動 3月1日～5月31日「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

○春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農場や用水路の危険箇所の把握・改善や余裕をもった作業計画など、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。

○2022年における農業機械の盗難被害は142件です。農地への放置、エンジンキーの抜き忘れに注意しましょう。